

## コンサート出演者プロフィール



河波浩平 (vo) 12/13(日)出演

埼玉県川越市の尚美学園大学にて、ジャズやポップスを学び、在学中よりリズムやハーモニーに関しての独自の研究を重ね、ジャズはもとよりクラブミュージックやソウルミュージック、ポップスなど、幅広いジャンルの音楽活動を手掛ける。また同時期、基本的な発声を声楽家久保範氏に師事し、氏との実験的な試みの中で生まれた声の特性を元に、ヴォイスパフォーマーとしての活動も行い、エレクトリックジャズバンド「WAVE FLATS」のリーダーを務める中、キーボードマガジン「プロ直伝シリーズ：坪口昌恭特集」に参加するなど、高い評価を得ている。2004年より本格的にジャズシンガーとしての活動を開始し、同年3月に行われた「第23回浅草ジャズコンテスト」において、ボーカル部門グランプリを受賞。伊原康二、田鹿雅裕、三木俊雄、片岡雄三など、様々なミュージシャンと共演をし、全国からの読者投票によって決定される「スウィングジャーナル人気投票」では、2006年度初登場第7位にランキングされている。現在はジャズはもとより、オリジナル曲の発表も精力的に行い、2007年6月に結成したラテンジャズグループ「LATINAMI」では、「Motion Blue Yokohama」に出演するなど、その勢力を広げている。



小泉高之 (ds) 12/13(日)出演

1955年10月20日東京都世田谷区に生まれる。日大在学中から活動を始める。1978年に渡米し、本場のジャズに触れ感銘を受ける。帰国後、ドナルド・ペイラーに師事。以後、寺下誠 Trio、菅野邦彦 HOCUS POCUS、鈴木勲ファミリー、MALTA など、数々のミュージシャンと演奏し現在に至る。常にいいグループを志すドラマーである。



梶原まり子 (vo) 12/13(日)出演

東京都吉祥寺出身 / 1948年12月8日生  
国立音楽大学に通うかわら、友人とフォーク、ロックグループバンドを結成。連日ジャズ喫茶に足を運ぶようになり、次第にジャズに傾倒していく。そして、ジャズピアニストの世良譲氏によってジャズミュージシャンとしての扉を開かれた。1966年、自由が丘「5スポット」にてデビュー。鈴木勲(b)のバンドや菅野邦彦(p)をはじめ、多くの一流ミュージシャンが出入りしているというすばらしい環境で演奏活動をスタートさせる。1985～1996年、育児等のために音楽と離れた環境ですごす。だが、その10年間はボーカリスト・梶原まり子にとって決して空白ではなく、新たな栄養源として効用すべく1996年に活動を再開する。近日、外面的な部分を強調した歌い手ばかりがたくさん存在する中、音楽を奏でるうえで、一番大切な心の中の歌を表現することができる稀有ともいえる歌い手のひとり。そして、それを理解できる素晴らしいミュージシャン達と共に都内を中心に活動している。

麻生ミツキータ光希 (vo) 12/19(土)出演

祖母は詩吟の師匠、母は元クラブ・シンガーと云う音楽一家に育ち、7歳よりクラシック・ピアノを始め、歌手を志す。17歳より本格的なVOCAL-LESSONを開始、18歳でプロ・デビュー。JAZZに感銘を受け、ドリー・ペイカー氏(vo)にJAZZ-VOCALを、アリア・カニングハム氏(vo)にVOICE-TRAININGを師事。数々のステージを経て「麻生光希&SUPERFRIENDS」を結成。'97年9月、「有馬 徹 ノーチェ・クバーナ」との共演をきっかけにLATIN音楽にも傾倒。'98年10月、1st.CD「THE HEAT IS ON!」発売。'99年6月、キューバの国民的イベント「ボレロ・フェスティバル」に出演、好評を博す。多彩な音楽性とパワフルで確かな歌唱力、エンターテインメント性溢れる華やかなステージングには定評があり、幅広いファン層を得ている。FM局パーソナリティーとして自己の音楽番組を一年半に渡り担当。イベントやコンサートへの生演奏のコーディネート及びプロデュース、プライダルや各種セレモニーの「歌のプレゼント付きMC」としてのキャリアも多数。JAZZ-VOCAL講師、VOICE-TRAINERとして多くの後進の指導にもあたっている。日本音楽指導員認定協会・会員。(株)フラッシュアップ・VOCAL講師。



中溝ひろみ (vo) 12/20(日)出演

東京学芸大学教育学部音楽科に入学。酒井伊吹子氏、黒田博氏にイタリア古典歌曲、オペラアリア、ドイツリートを師事。クラシックや音楽劇などを学ぶ傍らで大学の軽音楽部に入りバンドでジャズのセッションを重ねる。在学中にジャズギタリスト宮之上貴昭氏の経営していた『きりぎりぶらうん』で初めてのステージを経験。その時の感動が忘れられず大学卒業後はジャズに傾倒、本格的なライブ活動を開始する。都内近郊のライブハウスやジャズクラブ・レストランなどでライブ活動をし、2006年より船橋のGood Time Music Schoolにてボーカル科講師として勤める。同年夏には宮之上貴昭トリオの西日本ツアーに同行、アシスタントをこなしながら各地で飛び入りボーカリストとして演奏に参加。同年より海老原淳子氏にピアノ弾き語りを師事。2008年3月に開催された浅草ジャズコンテストの本選出場を果たし、ボーカル部門にてグランプリを受賞。



山口友生 (g) 12/20(日)、23(水・祝)、24(木)、25(金)出演

1959年東京生まれ。12歳の時ギターを手にする。大学在学中、ジョージ大塚バンドでの演奏活動を開始。その後、山口真文バンド、小島の子りバンド、中山英二バンド等に参加、また多くのボーカリストの伴奏を行う。ここ数年はアコースティックギターをメインにしており、ボサノバはもちろんだ、ジャズもフィンガーピッキングのアコースティックギターで演奏する。2007年からウクレレも手がけ、さらに表現の領域の拡大をめざす。美しい音色と歌心あるプレイには定評がある。最近の参加CD:小島の子り「Lush Life」・「NORINOTE」、中山英二「Whirling of the Wind」

